

「徳島県の自殺の状況と今後の対応」について

1 現状

これまで、徳島県は「本来自殺者はゼロであるべき」との基本姿勢のもと、自殺予防に向けた普及啓発や相談支援体制の充実強化に取り組んできた。

しかしながら、平成24年に徳島県の自殺者数は4年ぶりに増加に転じ、本年も1月から10月までの自殺者数は154人と、前年同時期を9人上回っており、なかでも65歳以上の高齢者の自殺は、64人と前年同時期の44人から20人増加するなど、厳しい状況にある。

2 対応

65歳以上の高齢者の自殺が増加している現状を踏まえ、「悩みを受ける相談」に加えて、「手を差しのべる相談」の充実を図ることとし、次の対策に重点的に取り組む。

①新高齢者自殺対策連携会議の設置

関係機関の連携を強化するとともに、それぞれの団体における取組みの充実を図る。

〈参加団体〉

徳島県社会福祉協議会、徳島県民生委員児童委員協議会、徳島県老人クラブ連合会、とくしま“あい”ランド推進協議会、徳島県ホームヘルパー協議会、徳島県介護支援専門員協会、とくしま住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会、日本司法支援センター徳島地方事務所 など

②新自殺予防包括ケアネットワークの構築

自殺のサインを発している方に対して、「自殺予防ネットワーク」事務局がワンストップ窓口となり、関係機関の専門知識を活かしながら、悩みの解決・軽減につなげていく仕組みを構築する。

③新ゲートキーパーマニュアルの作成と研修会の実施

自殺危機にある人への対応の仕方をわかりやすく解説したゲートキーパーマニュアルを新たに作成し、民生委員等の地域の見守りに関わる方々を対象とした研修会を実施する。

④自殺予防の取組みの裾野の更なる拡大

徳島県理学療法士会、徳島県作業療法士会、とくしま住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会などの団体と、「相互協力協定」を締結する。